

一般質問発言通告書

発言順位 2番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年11月22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 7番 沈 久美

質問事項1	子どもの健やかな身体について。肥満と思春期早発症
具体的内容	ウイズコロナにおける新しい生活様式において、子どもの身体に少なからずの影響が出ているのではないかと感じています。外出の自粛や活動制限がある中で、子どもたちは在宅での活動が増え、運動不足、おやつの食べすぎなどが見受けられます。コロナの影響ばかりとは言えませんが、近年の子どもの身体について気になる点がいくつかある中で、今回は肥満と思春期早発症について、以下伺います。
	1 子どもの肥満の現状について
	2 肥満増加の原因として考えられること及び肥満から危惧されることについての見解は。
	3 肥満の子どもを増やさない対策及び子どもの肥満改善のための対策について
	4 肥満や生活習慣が影響すると言われ、保護者の間で話題になっている「思春期早発症」の現状について
質問事項2	自殺の防止対策について。子ども向けと大人向けそれぞれの取り組み
具体的内容	県は自殺対策の新たな指針となる「第3次自殺総合対策行動計画」の素案をまとめました。自殺死亡率が高水準で推移している若年層や女性への対策強化がなされるとのことですが、大人に対しての対策とともに、子どものうちから意識的に自殺予防を図っていくことも併せて必要ではないでしょうか。そこで以下について伺います。
	1 三島市における自殺に関する現状と課題。及び子どもに対する自殺防止対策としてどのような取り組みをされているか。
	2 自殺に向かわせない心の育成には子どもの頃からの宗教的情操の涵養と継続性が大事と考えるが、公立の学校では道徳の授業がこれに代わるものとして極めて重要である。命を大切にするという観点における道徳の取り組み状況を伺う。
	3 女性対策に加え、三島では50代男性対策も必要。大人向け自殺防止対策の取り組み状況は。
	4 自殺防止対策として地域の力を借りることについての見解について
質問事項3	「みどりの食料システム戦略」を促す乳幼児期保護者等への取り組みについて
具体的内容	環境保全や有機農業など、持続可能な食料システムを提唱する「みどり戦略」策定から1年半が経過。全国的に農と食におけるさまざまな課題や遅れが具体的に表出する中で、三島においては推進への着実な歩みがあることをお見受けしています。長期的な戦略であることから、5年先、10年先を見据え、乳幼児をもつ保護者やこれから親になろうという人への啓発等、次世代を対象に先手を打つ必要性を感じています。とくに有機農産物との親和性向上をねらう啓発活動について見解を伺います。
	1 パンパママセミナー、離乳食の講習会、その他の集団教育やイベントなど、若い世代を対象とした有機作物の使用を促す啓発活動の可能性について